

ごあいさつ



取締役頭取 増田 熙男

皆さまには、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくために、本誌を作成いたしました。2004年度の業績を中心に当行の現況と経営に対する考え方などについて、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、わが国経済は、昨年後半から海外需要の鈍化による輸出の伸び悩みやIT分野の在庫調整などから景気の踊り場局面に入っていますが、業績改善を背景にした企業部門の明るさが、ようやく家計部門に現れ、個人消費や雇用に改善がみられるなど脱却に向けた明るい動きも見られます。

一方、金融界におきましては、不良債権の圧縮、自己資本の強化、株式保有に伴うリスクの削減や金融再生・事業再編など、様々な経営課題に取り組んでまいりました。

こうした中、当行は、時代の変化に機敏に対応し地域金融機関としての役割を十分果たしていけるよう、リテール業務の強化、徹底した経営の効率化を推進し、営業力・収益力の強化に努め、安定的な利益を計上することができました。さらに、劣後債の発行など、財務基盤の強化に取り組んでまいりました結果、自己資本比率も8%以上を達成することができました。

また、当行では、従来から法令等遵守態勢の強化を経営の最重要課題として位置付けて取り組んでまいりましたが、本年6月、不祥事件の発生に対し、法令等遵守態勢の確立に向けた取組みが不十分であるとして監督官庁より業務改善命令を受け、皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけいたしました。役員職員一同、深く反省し、心からお詫び申し上げます。

この命令を厳粛に受け止め、内部管理態勢の充実・強化に全力で取り組み、地域金融機関としての使命である地域社会の発展に貢献する「役に立つ銀行」として、株主やお取引先の皆さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2005年7月

東和銀行 取締役頭取

増田 熙男